

**速報****全国学力・学習状況調査結果（下野市の概要）**平成22年9月22日  
下野市教育委員会

平成22年度の全国学力・学習状況調査の下野市の結果（国語，算数・数学）は，全国の平均正答率と比べ，小学校はほとんどの領域で，中学校はすべての領域で，全国平均正答率を上回る結果となりました。

**全国学力調査**

- A問題(主として「知識」に関する問題)
- B問題(主として「活用」に関する問題)
- ◇国語の領域(小・中)「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「言語事項」
- ◇算数の領域(小)「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」
- ◇数学の領域(中)「数と式」「図形」「数量関係」

**全国学習状況調査**

- 質問数 小学校，中学校ともに77問
- 回答方法 4つから選択
- 質問内容 小学校，中学校ともに同じ内容
  - 基本的な生活習慣 ○目標，達成感，長所 ○睡眠，学習，テレビ，ゲーム時間
  - 家庭でのコミュニケーション ○関心・意欲・態度 ○規範意識・道徳性
  - 学習・教科の取り組み ○解答時間 等

**児童生徒のデータ**

- \*下野市 小中学校全校のデータ（抽出校6校＋希望利用校10校）
- \*栃木県 抽出校のデータ
- \*全国 抽出校のデータ

**全国学力調査結果 下野市と全国平均との比較 【H19～22全体比較】**

- ◎大きく上回っている（5ポイント以上）      ○上回っている（1ポイント以上5ポイント未満）
- 同じ（±1ポイント未満）
- ▽下回っている（1ポイント以上5ポイント未満）      ▼大きく下回っている（5ポイント以上）

小学校	H19	H20	H21	H22	中学校	H19	H20	H21	H22
国語A	○	○	○	○	国語A	◎	○	○	○
国語B	◎	○	○	—	国語B	◎	◎	◎	◎
算数A	○	○	—	○	数学A	◎	◎	◎	◎
算数B	◎	○	—	○	数学B	◎	◎	◎	◎

## 全国学力調査結果 下野市と全国平均との比較 【H22 領域別比較】

◎大きく上回っている（5ポイント以上）      ○上回っている（1ポイント以上5ポイント未満）  
 ー同じ（±1ポイント未満）  
 ▽下回っている（1ポイント以上5ポイント未満）      ▼大きく下回っている（5ポイント以上）

小学校国語	国語A	国語B	小学校算数	算数A	算数B
話すこと・聞くこと	○	○	数と計算	○	○
書くこと	○	ー	量と測定	○	○
読むこと	○	▽	図形	○	○
言語事項	ー	▼	数量関係	○	○

中学校国語	国語A	国語B	中学校数学	数学A	数学B
話すこと・聞くこと	◎	◎	数と式	◎	◎
書くこと	○	◎	図形	◎	◎
読むこと	◎	◎	数量関係	◎	◎
言語事項	○				

### 1 小学校の全国学力調査結果について

国語では、A問題は全国の平均正答率をどの領域も上回っていました。B問題は、4領域の内「言語事項」が6.5ポイント下回っており、課題となりました。

算数では、A・B問題ともに、わずかに全国の平均正答率を上回っていました。4領域すべてにおいて、1～4ポイント上回っていました。

### 2 中学校の全国学力調査結果について

国語のA・B問題、数学のA・B問題ともに、全国の平均正答率をどの領域も上回っていました。

国語はA・B問題合わせて7領域中5領域で、数学はA・B問題すべての領域で、5ポイント以上全国の平均正答率を上回っていました。

### 3 同一集団の変容について

平成19年度（小学6年）と平成22年度（中学3年）の同一集団の変容を全体比較で見ると、国語Aより国語B、算数・数学Aより算数・数学Bの方が上回っている点において、同じ傾向が見られました。また、算数・数学での顕著な伸びが見られました。

### 4 小・中学校の全国学習状況調査結果について

今年度の学習状況調査（児童・生徒質問紙）の結果は、小学校中学校ともに77項目中33項目で全国・県平均を上回っていました。

特に「基本的な生活習慣」、「家庭での予習・復習」、「規範意識」等については、昨年度同様よい傾向が見られました。

今後、この結果を分析し、学校・家庭・地域における学習指導や生活指導の工夫改善等に生かし、児童・生徒のさらなる学力向上につなげていきたいと考えています。